

第3回部会議事 委員意見・質問まとめ

全世代向け地域包括ケア体制構築に向けた相談・連携体制について(議事1)

No	意見の要旨	意見・質問者
1	資料1-3 (2) 地域包括ケアシステムにおいて、小・中学校関係者からの情報も加えられるとより良いと思います。	岩川 委員
2	<p>・高齢者人口、高齢化率の急速な増加、上昇を考えると、現在の8ヶ所では足りず各区民活動センター毎に1ヶ所ずつ地域包括支援センターを設置するのがベターと思われる。同時に区民活動センターに「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」等の資源を集中させ、権限の強化を図る必要がある。</p> <p>いろいろと組織、しくみ、制度をつくっても、それが実際に利用されなければほとんど意味をもたない。アウトリーチチームの強化といかに区民に周知するか、広報の工夫が求められる。</p> <p>すこやか福祉センターの役割がいまひとつはっきりしない。地域包括支援センターとの業務のすみ分けが出来ていない。現在、区民活動センターの管理、統括、指令塔的な役割を担っていると思うが、地域事情、ニーズはそれぞれの地域で異なっており、4ヶ所のすこやか福祉センターで一元管理することは困難と考える。</p> <p>アウトリーチチームについていえば、メンバーは各区民活動センターに1人、すこやか福祉センターに3人、中野区全体で27名と人数が圧倒的に少ない。これでは地域ニーズにほとんど応えられない。地域住民やボランティアの中からメンバーを選出するなどして、大幅な増強が必要である。</p>	中山 委員